



～あふれ出る湧き水と瑠璃色の水辺の町～

針江・霜降



はりっしも
Harisshimo vol.15 2022 (令和4年). 7

針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会

Message

針江・霜降地域は国の「日本遺産」・「重要文化的景観」の選定を受けています。

小さな町に湧き水と自然の川がある



今年は、夏まつりにあわせて開催！
平和祈願！
水辺あかり2022

針江区・霜降区の夏まつりに、恒例の水辺あかりを大川一帯に灯します。区民の方々や子ども会の皆さんが描いた灯籠絵も楽しみです。

- 日時：8月12日（金）と15日（月）
午後6時頃～8時頃まで
- 場所：針江・霜降 大川一帯
針江公民館～日吉神社前～
行者堂・水辺公園～霜降会議所前

*協力：子ども会
和ろうそく大與 ほか

湧水環境調査を実施します。

重要文化的景観整備活用
令和4年度事業

針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会

■針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会では、2010年に選定された国の重要文化的景観「針江・霜降の水辺景観」の重要な構成要素である、両区のカバタ及び河川・水路について「高島市重要文化的景観整備活用計画」に基づいて文化庁及び高島市の支援を受け、選定時以来となる全面的な湧水環境調査を実施します。



ご協力をお願いします！

カバタ調査

■針江・霜降区の全戸を対象として、各ご家庭の湧水利用状況及びカバタの調査に、針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会の調査班員がお伺いいたしますので、ご協力よろしくお願いいたします。

河川調査

■重要文化的景観選定エリア内及び周辺の河川・水路の調査を、滋賀県立大学環境科学部環境生態学科小泉尚嗣教授のご指導を得て実施します。
■各河川の川幅、水深、水温、流路など基本的な調査に加え、定期的な水質や流水の状態、生態観察を行い、良好な湧水河川環境の保全に役立てたいと思います。

①カバタ（湧水）の利用状況について、聞き取り調査またはアンケート調査を実施します。ご同意いただける場合は、カバタの採寸、湧水状況、外観や内部の写真撮影についてご協力をお願いいたします。

※プライバシーの確保、個人情報保護は十分に配慮いたします。

②文化庁への登録カバタ（45件）については、登録内容の変更の有無及び利用状況について確認調査させていただきます。

③文化庁への登録をされていないカバタについては、今後の登録意向も含めた調査へのご協力をお願いいたします。

※お問い合わせは、裏面の協議会役員まで

■針江・霜降の水辺景観エリア内河川は、安曇川沿岸の農業用水や周辺の雨水が流れ込む以外、ほとんどが湧水「生水」という類稀な地域です。私たちの地区は、季節ごとの区民総出の川掃除をはじめ、生活排水路清掃や農排水清掃など、住民の手によって大切に守られ、水環境が保たれています。

しかし近年は、川を使う生活から遠ざかり、上流部の宅地開発や田んぼの買収など、河川環境も変化しています。この調査で、文化的景観価値を高め、住む魅力を高めていければと思います。





針江・霜降の水辺景観資料室

●夏季限定公開

<予定日>

8/6(土)・12(金)・15(月)・20(土)・27(土)

■公開時間は、午後1時30分～4時

■針江公民館2階 (旧さつき文庫)

※公開日時に変更になる場合があります。針江公民館前にてお知らせします。

★別途、見学をご希望の方は、お知らせください。

足立 090-8655-9388 まで

■資料室では、針江・霜降の水辺景観関連の資料・文献、古文書や絵図、当地域の研究者の研究論文、新旭や高島市、滋賀県の歴史や風土にかかわる書物などを所蔵展示しています。

いよいよ OPEN!



引き続き関連資料を募集しています!

■重要文化的景観の関連資料、地域の古い写真や古文書、文献、記録類など、公開やご寄贈いただけるものがありましたら、協議会役員までお知らせください。

◇例えば

- ・針江区霜降区の写真や古地図、絵画、古文書、古い言い伝えなど
- ・川遊び、カバタや川での洗い物、作業などを行っている写真など
- ・お祭りや行事などの写真や記録など
- ・圃場整備前の田んぼの風景や農作業風景写真など
- ・湖周道路ができる前の湖岸や内湖、ヨシ帯の風景、漁業風景写真など

重要文化的景観について



■文化庁は、地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地で、我が国民の生活又は生業の理解のため欠くことのできないもの（文化財保護法第二条第1項第五号より）を「文化的景観」としており、その中でも特に重要なものを、「重要文化的景観」として選定しています。

この選定制度は、2004年の文化財保護法の一部改正によって始まった新しい文化財保護の手法です。重要文化的景観は、重要文化財や史跡・名勝・天然記念物等と同じく文化財の一類型である一方で、地域における生活・生業に関わる有形・無形の要素や動産・不動産といったあらゆるものを一体的に捉え、価値を見出し、保存・活用をはかるものという側面を持ちます。



現在、全国で71件の重要文化的景観が選定されており、多くが農山漁村の景観ですが、歴史ある都市部の宇治市や金沢市も選定されています。高島市は全国で唯一、市内に3件（海津・西浜・知内の水辺景観、大溝の水辺景観と当地域）の重要文化的景観を保有しています。

水辺景観 四季の便り

「夏は蛍」

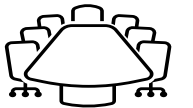
■針江の神社前の大川では例年より多くのホタルで賑わいました。しかも大川の周辺だけでなく結構離れた場所まで飛んでいました。

今年の初見日は5月20日、ほんの数匹ほどで、6月初旬まで夕方から涼しくなり、ホタルはあまり多くないだろうと思っていました。中旬になり、自宅の庭先や神社の境内を飛んでいるので、大川も多いただろうとカメラを構えました。

三宅 進 (撮影:2022年6月18日 20時41分)



高島市文化財保存活用 地域協議会設立に参加



■昨年7月に文化庁の認定を受けた「高島市文化財保存活用地域計画」を受けて、今年4月「高島市文化財保存活用地域協議会」が文化財保存団体や文化財活用団体の参加を得て発足しました。

参加団体は、20団体に高島市の文化財課が加わり、古文書や郷土史の団体、藤樹書院、安曇川流域文化遺産活用推進協議会のほか、盆踊り歌や古民家の保存、自然観察倶楽部など多岐にわたった団体で構成されており、高島市内3カ所の重要文化的景観の整備活用を行う水辺景観まちづくり協議会も参加しています。



新旭町日爪 堂立山 慈恩寺 十二神将像の一部 (慈恩寺保存会)

また、市内にはまだまだ多くの文化財所有者や保存団体があり、今後は学識経験者も含めた関係者の参画を得て、文化財の保存と活用に関わる連携をめざしています。今秋には、藤樹の里文化芸術会館で開催される市の文化財関係展示にあわせて、参加団体の活動紹介を行う予定です。関係団体を結ぶホームページも徐々に拡充されていますので、ご覧ください。

びわ湖高島文化財めぐりホームページ <https://takashima-bunkaisan.jp/>

はりっしも information

水辺景観協議会の概要

■今年度から新たに、文化庁の地域文化総合活用推進事業及び高島市の助成を受け、「高島市重要文化的景観整備活用計画」及び「高島市文化財保存活用地域計画」に沿って、重要な構成要素の調査活用事業や資料室の整備を進めていくことになりました。

地域の皆さまのご理解とご協力を得て、引き続き私たちの大切な「水の文化」を「守り、伝え、繋ぐ」活動を進め、針江・霜降の水辺景観の文化財価値を高めていきたいと思ひます。

■重要文化的景観に選定された際に重要な構成要素として認定されているカバタ(45件)などを保存修理・修復する場合は、国と市から経費の補助を受ける制度があります。

■カバタの「保存修理」「追加登録」、重要文化的景観の整備活用等のご相談、及び表面にご紹介した「カバタ調査」及び「河川調査」について、お問い合わせは当協議会の役員までご連絡ください。



◆令和4(2022)年度 針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会 役員
 会長 足立 亨 副会長 北野俊朗(針江区長) 海東 弘(霜降区長)
 [針江] 前田豊彦 伊藤 昭 高田一雄 三宅 進 高橋正通 森田茂之
 [霜降] 山川 隆 青木 博 藤本徳治 山川三津浩

- ・カバタ調査班: 班長 伊藤 昭
- ・河川調査班: 班長 青木 博